

## ■中間考査の振り返りをしよう

中間考査終了、お疲れさまでした。手応えはどうだったでしょうか。来週から答案が順次返却されてくると思いますが、大事なものは、今回の定期テストに向けての準備、計画、取組、結果を振り返って「反省点」「課題」をあぶり出し、次回に生かすことです。例えば、

### ①「範囲が終わらなかった！」という人

これは定期考査に向けての計画の立て方が不十分だった可能性があります。2週間前には考査範囲、1週間前には考査の時間割が発表されますが、そこから逆算して「何日前までにどこまで終わらせるか」の見通しを立てて勉強していたでしょうか。行き当たりばったりの学習では直前になって大慌てするのが目に見えています。次回は「早めの準備」と「見通しをもった計画」をテーマに課題の克服に努めましょう。

### ②「想定していない問題が出題された！」という人

このような人は考査範囲のポイントをしっかり掴んでいないことが原因かと思われます。定期考査というのは日々の授業の理解度を測るもの。授業中に先生が「これは大事!!」と強調したポイントをしっかり押さえていたでしょうか。次回のテストまで、授業の説明を一言も聞き洩らさないつもりで「まず授業に全力集中」です。

そして、皆さんにとっていちばん大切なことは

## 「返却された答案を徹底的に見直すこと!!!」

です（「徹底的に」とは「もう1回同じ問題で試験を受けたら満点取れる」までやる、ということです）。間違えた問題（まぐれで当たった問題も含め）を全て洗い出し、間違えた原因を分析し、教科ごとに作った間違い直しノート（通称『懺悔ノート』）に反省点を含め記録し、すらすら解けるようになるまで何度も繰り返すのです。テストが終わるたびに丁寧に復習する習慣をつけましょう。間違えた答案が皆さんにとっての最高の教材です。

## ■保護者対象進路講演会での話題から～生徒の皆さんにも考えてほしいこと～

17日にPTA進路講演会を行いました（参加していただいた保護者の皆様、ありがとうございました）。保護者の方向けの講演でしたが、生徒の皆さんにも一緒に考えてほしい話題もたくさんありましたので、いくつか紹介します。今後の勉強の取り組みなどについて、家庭で話し合う材料にしてほしいと思います。

### 話題1：過去の先輩たちの姿から学ぼう

満足度の高い結果を残した先輩たちの取り組みには、いくつかの共通点があります。昨年度の卒業生の様子から、うまくいく生徒には右のような共通点が見られます。「①第一志望校を大切にしつつもさまざまなケースを想定して準備をした生徒②耳の痛い助言にも真摯に耳を傾けた生徒③日頃から保護者ときちんと情報交換をしてきた生徒」などです。

### 話題2：塾や補習の活用について

通塾率が高いことも本校の生徒の特徴でもあります。ただ、塾に行く目的が「家だと勉強しないから」という生徒は心配です。人に敷かれたレールの上を進むだけで、「自分で計画を立てて勉強する」という習慣をつけないと必ず壁にあたります。早朝補習も同様ですが、必ず「目的をはっきりさせる」ことが大切です。毎年、学校の勉強と膨大な塾の宿題で板挟みになる、苦しい思いをする生徒が一定数います。まず自分で考えた1つの目標をきちんと仕上げることで達成感のある学習に繋がります。

昨年度の卒業生の様子から  
うまくいった生徒と、そうでなかった生徒は、何が違うのか？

- ① 多様な選択肢を用意していた生徒**  
第一志望は大事にしながらも、様々なケースを想定して準備
- ② 聴く耳をもてた生徒**  
都合の悪いアドバイスも、まずはしっかり受け止める心のゆとり
- ③ 家族との十分な意思疎通ができていた生徒**  
家族で一致団結して受験に向き合える生徒は、強いです

2. 本校における進路指導について（資料5）  
進路生活実態調査の結果から

(5) 学習時間（平均時間）

| 学年        | (A)   | (B)   | (C)   | (D)   |
|-----------|-------|-------|-------|-------|
| 2年        | 110.4 | 110.0 | 131.4 | 110.4 |
| 3年        | 60.2  | 22.8  | 110.9 | 79.9  |
| 4年        | 16.5  | 43.8  | 0.0   | 13.4  |
| 6時間以上     | 11.0  | 31.1  |       |       |
| 平均(分)     | 140   | 182   |       |       |
| 19年度平均(分) | 141   | 176   |       |       |

(6) 学習の補助

|       | 2年  | 3年   | 4年  | 5年   |
|-------|-----|------|-----|------|
| なし    | 86  | 21.0 | 83  | 21.1 |
| 塾・予備校 | 171 | 61.7 | 168 | 62.9 |
| 通信添削  | 17  | 6.1  | 8   | 3.0  |
| 家庭教師  | 1   | 0.4  | 2   | 0.7  |
| その他   | 2   | 0.7  | 6   | 2.2  |
| 合計    | 277 | 100  | 267 | 100  |

(2学年データより)

塾に通っている生徒の平均学習時間 平日 143分 休日 246分  
塾に通っていない生徒の平均学習時間 平日 134分 休日 241分

### 話題3：入試情報にもアンテナを高く張っておこう

入試の手続きは年々複雑化しており、落ち着いて勉強に専念するためにも志望校の入試情報はしっかりと情報収集しておく必要があります。今年度からは共通テストの出願が web による個別出願になります。共通テストの出願に関しては、学校で説明会を行います。日頃からアンテナを高く張り、必要な情報を正確に把握しておく必要があります。

#### 2. 共通テストの出願について（資料6）

##### ①マイページの作成【7/1～10/3】

ID・パスワードの設定 ※学校で説明会を行います

##### ②出願（検定料の支払い）【9/16～10/3】

オンライン決済になります

##### ③出願内容の確認・登録内容の変更【10/10～17】

これ以降の受験科目の変更・訂正はできません

##### ④受験票の取得・印刷【12月中旬】

ここまでを各ご家庭で行っていただくこととなります

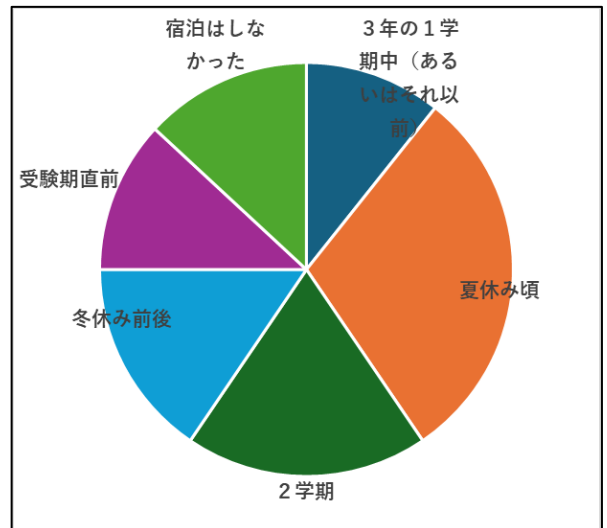
※高校専用サイトへの情報提供承認をお願いします

### ■卒業生アンケートから「受験の宿の予約について」

毎年卒業生を通じて受験期についてのアンケートをお願いしています。その中には「受験の宿」の手配や、宿泊地での過ごし方などについての質問もあります。この時期保護者の方からも「受験の宿はどのタイミングで動き出せばいいのか」という質問をいただきますので、昨年度のアンケートの結果をまとめてみました。

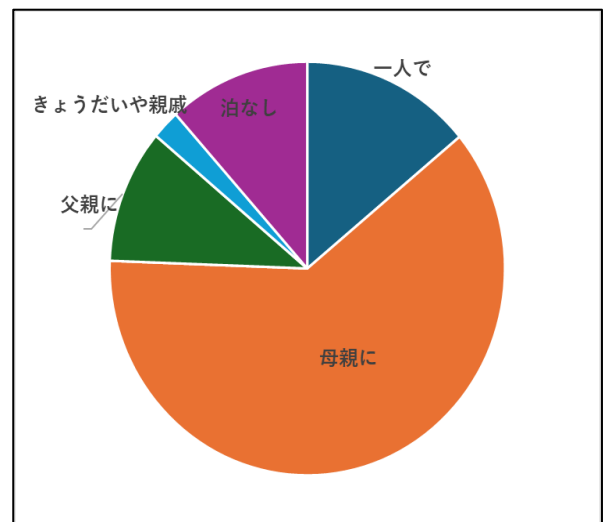
#### Q1. 受験のためのホテルはいつ確保しましたか？（最初に確保した時期）

|                   |       |
|-------------------|-------|
| 3年の1学期中（あるいはそれ以前） | 10.7% |
| 夏休み頃              | 29.8% |
| 2学期               | 19.0% |
| 冬休み前後             | 15.5% |
| 受験期直前             | 11.9% |
| 宿泊はしなかった          | 13.1% |



#### Q2. 泊を伴う受験には、誰と一緒に行了きましたか？

|                   |       |
|-------------------|-------|
| 一人で宿泊した           | 14.0% |
| 母親に付き添ってもらった      | 61.6% |
| 父親に付き添ってもらった      | 10.5% |
| 両親以外の家族（きょうだいや親戚） | 2.3%  |
| 泊を伴う受験はなかった       | 11.6% |



大学入試において、遠方の試験会場に赴く受験生は、宿泊先(受験の宿)を事前に予約することが重要です。試験当日に万全の状態を臨むためには、安心して過ごせる宿泊環境を早めに確保することが成功への第一歩です。以前は大手旅行社などによる「受験生応援プラン」のようなものが主流でしたが最近はそのご家庭で「ホテル予約サイト」等から予約するケースが多いようです。大学周辺に宿泊施設が少ない地域や観光地ではなかなか条件のよいホテルを予約するのが大変ですので、定期的に予約状況を見ながら早い時期にとりあえず確保しておくと思えます。まだこの時期ですと実際に受験する大学は1つに絞れていないことが多いので可能性のあるところは一通り押さえておく必要があるかもしれません。昨年度の卒業生も約4割の生徒が夏休み前後には宿泊地を確保したようです。また、入試の時期によりホテルのキャンセルが出やすい時期があります。共通テスト直後でしたり、推薦入試の合格発表直後なども空きが出る可能性があります（合格者が抜けていきます）。そういう点では、推薦入試を受ける受けないにかかわらず、受験候補校の推薦入試の合格発表日なども把握しておくといいのではないのでしょうか。宿泊についてはお母さんに同行してもらうケースが多いようですが、ご家庭の方針で（自立させるために）一人で行ってきた、という生徒もいます。「かわいい子には旅をさせよ」ということでしょうか。